がつ　にち　ようび

自分と相手とのちがい

なまえ：

1.やってみよう あなたが、 クラスの友達から言われて 「いやだな」 と感じる言葉を一つ選んでみましょう。

1. まじめだね
2. おとなしいね
3. いっしょうけんめいだね
4. 個性的（こせいてき）だね
5. マイペースだね

2.考えてみよう いやだなと感じた理由を書きましょう。

3.考えてみよう ほかの人に意見を聞いて、 どんなことに気が付きましたか。

4.やってみよう あなたが、 クラスの友達からされて 「いやだな」 と感じることを、 上から並(なら)べてみましょう。

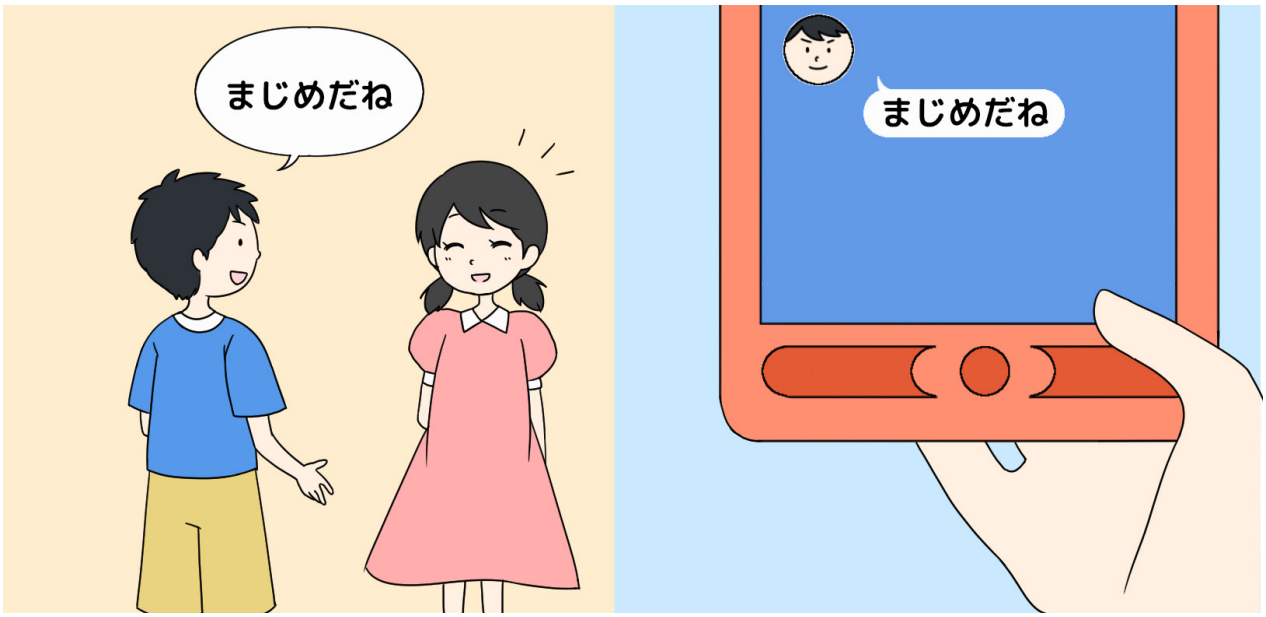
1. すぐに返信が来ない
2. なかなか会話が終わらない
3. 知らないところで自分の話題が出ている
4. 話をしている時にケータイ・スマホをさわっている
5. 自分が一緒(いっしょ)に写っている写真を公開される

5.考えてみよう それぞれのカードを選んだ理由を書きましょう。

一番いやだと感じるカードを選んだ理由	一番いやではないと感じるカードを選んだ理由

ネットの特性(とくせい)

私たちは相手の感情を言葉以外のどんなところから読み取っているでしょうか。



1

みおぎ情報活用リート

まじめだね

自分と相手とのちがい

1

みおぎ情報活用リート

すぐに返信が
来ない

自分と相手とのちがい

2

みおぎ情報活用リート

おとなしいね

自分と相手とのちがい

2

みおぎ情報活用リート

なかなか会話が
終わらない

自分と相手とのちがい

3

みおぎ情報活用リート

いっしょう
けんめいだね

自分と相手とのちがい

3

みおぎ情報活用リート

知らないところで
自分の話題が
出ている

自分と相手とのちがい

4

みおぎ情報活用リート

個性的(こせいてき)だね

自分と相手とのちがい

4

みおぎ情報活用リート

話をしている時に
ケータイ・スマホ
をさわっている

自分と相手とのちがい

5

みおぎ情報活用リート

マイペースだね

自分と相手とのちがい

5

みおぎ情報活用リート

自分が一緒(いっしょ)に
写っている写真
を公開される

自分と相手とのちがい

モデル指導案：自分と相手とのちがい

情報モラル　小学校高学年

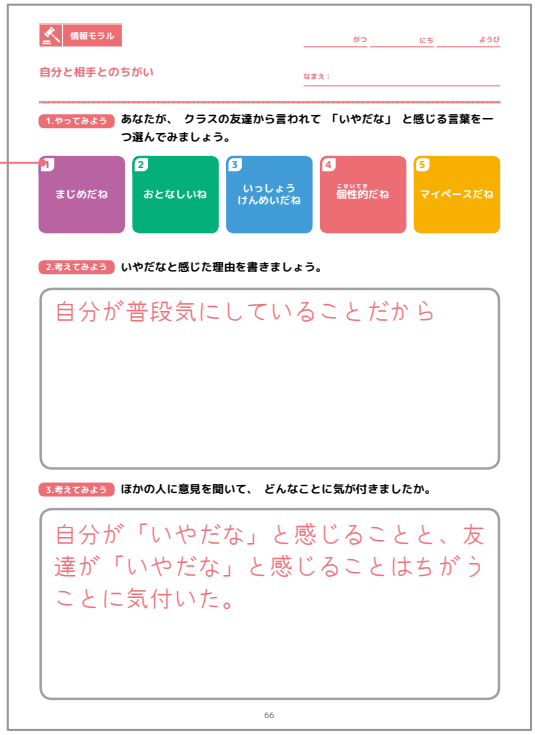
情報活用能力としてのねらい	活用できる教科や学習活動
D1：コミュニケーション ・相手によって受け止め方が違うことを理解する	5年道徳「相互理解、寛容」

5年　道徳

・同じ言葉でも、人によって感じ方が違う言葉があることに気付く。
・文字だけで伝えると、感情が伝わらないので、誤解されやすいことに気付く。

時間	学習活動	準備物・留意点等
20分	**1．やってみよう** ・3～5名のグループとなり、カード教材を準備する。 あなたが、クラスの友達から言われて「いやだな」と感じる言葉を一つ選んでみましょう。 ・カードの中から1枚を選んで、グループの全員が見えるように提示する。 いやだなと感じた理由を書きましょう。 ・グループで理由を説明する。 ほかの人の意見を聞いて、どんなことに気が付きましたか。 ・クラスで共有し、気が付いたことを発表する。 ・ネットの特性を読み上げ、「まじめだね」の文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の伝わり方の違いについて考えを書き、説明する。	・カード教材
20分	**2．やってみよう** ・カードを裏返すように指示する。 あなたが、クラスの友達からされて「いやだな」と感じることを、上から並べてみましょう。 ・5枚のカードを、「いやだな」と感じる順に並べ、グループの全員が見えるように提示する。 一番いやだと感じるカードを選んだ理由、一番いやではないと感じるカードを選んだ理由を書きましょう。 ・グループで理由を説明する。 ・クラスで共有し、理由を発表する。	・カード教材
5分	**3．まとめ** ・今日の授業で学んだことを記入する。 ・家庭に持ち帰り、保護者に今日の授業で学んだことを伝え、「家庭から」の欄に記入してもらうよう伝える。 ・家庭でカード教材を一緒に体験してみるように伝える。	・カードをしまう封筒等

・自分の「いやな言葉」が相手の「いやな言葉」と同じではないことに気付くようにするため、グループやクラスで「いやな言葉」を共有する。


情報モラル

がつ　にち　ようび

自分と相手とのちがい

なまえ：

1.やってみよう　あなたが、クラスの友達から言われて「いやだな」と感じる言葉を一つ選んでみましょう。

1 まじめだね　2 おとなしいね　3 いっしょうけんめいだね　4 個性的だね　5 マイペースだね

2.考えてみよう　いやだなと感じた理由を書きましょう。

自分が普段気にしていることだから

3.考えてみよう　ほかの人に意見を聞いて、どんなことに気が付きましたか。

自分が「いやだな」と感じることと、友達が「いやだな」と感じることはちがうことに気付いた。

66

・自分が「いやではない」と思っていたことが、相手にとっては「いやなこと」であるなど、理由とともに違いを認識するようにする。

4.やってみよう　あなたが、クラスの友達からされて「いやだな」と感じることを、上から並べてみましょう。

1 すぐに返信が来ない　2 なかなか会話が終わらない　3 知らないところで自分の話題が出ている　4 話をしている時にケータイ・スマホをさわっている　5 自分が一緒に写っている写真を公開される

5.考えてみよう　それぞれのカードを選んだ理由を書きましょう。

一番いやだと感じるカードを選んだ理由
すぐに返信がないと無視されたと思ってしまうから。

一番いやではないと感じるカードを選んだ理由
会話をするのが楽しいから。

ネットの特性

私たちは相手の感情を言葉以外のどんなところから読み取っているでしょうか。

顔の表情や、身振り手振り、声の出し方

67

・「まじめだね」の文字だけで伝えた場合と、顔を見ながら伝えた場合の伝わり方の違いについて、実演し、考える。
・私たちはいろいろな情報を基に相手の気持ちを感じとっていることに気付くようにする。

アドバイザーのコメント

「いやな言葉」や「いやなこと」は、人によってズレやすく、「自分はいやな言葉なんて言ってないし…」という認識がトラブルのもとになります。クラス全体で意見を共有し、自分のいやな言葉と他の人のいやな言葉は必ずしも同じではないこと、テキストメッセージは感情が伝わりにくいのでトラブルが起きやすいことを自覚させることがポイントです。